



2026年2月期 第2四半期(中間期)決算短信(日本基準)(連結)

2025年10月14日

上場会社名 株式会社 魚喜

上場取引所 東

コード番号 2683 URL <https://www.uoki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 有吉 美和

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部副本部長 兼 経理部長 (氏名) 尾崎 勝弘

TEL 0466-45-9282

半期報告書提出予定日 2025年10月15日

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年2月期第2四半期(中間期)の連結業績(2025年3月1日～2025年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年2月期中間期	4,638	3.4	26	—	30	—	27	—
2025年2月期中間期	4,802	1.2	6	—	23	—	18	—

(注) 包括利益 2026年2月期中間期 7百万円 (—%) 2025年2月期中間期 14百万円 (—%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年2月期中間期	10.75	—
2025年2月期中間期	7.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年2月期中間期	3,073	803	26.1
2025年2月期	2,302	871	37.9

(参考) 自己資本 2026年2月期中間期 803百万円 2025年2月期 871百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2026年2月期	—	0.00			
2026年2月期(予想)			—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年2月期の連結業績予想(2025年3月1日～2026年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	9,950	0.2	60	32.7	60	43.3	40	28.1

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 — 社（社名）、除外 — 社（社名）

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

以外の会計方針の変更：無

会計上の見積りの変更：無

修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年2月期中間期	2,555,856 株	2025年2月期	2,555,856 株
2026年2月期中間期	37,192 株	2025年2月期	2,192 株
2026年2月期中間期	2,527,414 株	2025年2月期中間期	2,553,664 株

期末自己株式数

期中平均株式数（中間期）

第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 中間連結貸借対照表	3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
(中間連結損益計算書)	5
(中間連結会計期間)	5
(中間連結包括利益計算書)	6
(中間連結会計期間)	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間(2025年3月1日から2025年8月31日まで)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善に加えインバウンド需要の増加から緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、米国の関税政策をはじめとする国際経済環境の先行き懸念、物価上昇の継続による個人消費の減速懸念等、先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが事業の主体をおく水産小売業界におきましても、海外で高まる水産物の需要増加及び漁獲可能量や水産資源管理の枠組み強化に加え、原料相場の上昇、物流・運送業界の2024年問題に起因する配送費の増加も見込まれることから、業界を取り巻く経営環境は厳しい状況が続いております。

このような環境下、当社グループでは、中期経営計画に掲げる、「魚喜ビジョン2025」の最終年度として、当計画の目標達成に向けて諸施策に取り組むことに加え、既存店の強化による利益率の改善及びバックオフィスのさらなる効率化を図り収益拡大に取り組んでまいりました。

さらに労働環境の一層の整備を図るとともに、教育・研修制度の強化等、従業員の育成にも継続的に取り組んでまいりました。

この結果、当中間連結会計期間における売上高は46億38百万円(前年同比3.4%減)、売上総利益は21億7百万円(前年同期比2.6%減)、営業損失は26百万円(前年同期は営業利益6百万円)、経常損失は30百万円(前年同期は経常利益23百万円)となりました。親会社株主に帰属する中間純損失は27百万円(前年同期は親会社株主に帰属する中間純損失18百万円)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(鮮魚事業)

鮮魚事業の売上高は、39億94百万円(前年同期比5.2%減)となり、セグメント利益は、2億44百万円(前年同期比2.0%増)となりました。

(飲食事業)

飲食事業の売上高は、4億45百万円(前年同期比7.7%増)となり、セグメント利益は、6百万円(前年同期比62.9%減)となりました。

(不動産事業)

不動産事業の売上高は、2億17百万円(前年同期比10.2%増)となり、セグメント利益は、11百万円(前年同期比28.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億71百万円増加し、30億73百万円となりました。このうち、流動資産は前連結会計年度末に比べ5億68百万円増加して19億19百万円となり、また、固定資産は前連結会計年度末に比べ2億2百万円増加して11億53百万円となりました。

(負債)

負債の総額は、前連結会計年度末に比べ8億39百万円増加し、22億69百万円となりました。このうち、流動負債は前連結会計年度末に比べ8億6百万円増加して17億85百万円となり、また、固定負債は前連結会計年度末に比べ33百万円増加して4億84百万円となりました。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ68百万円減少し、8億3百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年4月11日の決算短信で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	701,809	1,087,451
売掛金	390,589	550,878
商品	114,187	119,456
貯蔵品	15,029	12,356
その他	129,584	149,841
流動資産合計	1,351,200	1,919,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	633,492	642,063
減価償却累計額	△424,818	△433,668
建物及び構築物(純額)	208,674	208,394
工具、器具及び備品	731,604	720,514
減価償却累計額	△631,498	△614,493
工具、器具及び備品(純額)	100,105	106,021
土地	389	173,733
建設仮勘定	7,900	6,000
有形固定資産合計	317,068	494,149
無形固定資産	18,079	14,960
投資その他の資産		
投資有価証券	175,258	204,828
敷金及び保証金	338,376	334,068
保険積立金	82,518	80,502
繰延税金資産	1,524	2,739
その他	18,087	22,054
投資その他の資産合計	615,765	644,193
固定資産合計	950,914	1,153,303
資産合計	2,302,114	3,073,288

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年2月28日)	当中間連結会計期間 (2025年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	332,431	729,279
短期借入金	200,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	104,280	120,504
未払金	186,146	302,639
未払法人税等	9,678	4,581
契約負債	143	85
賞与引当金	19,840	18,874
資産除去債務	3,347	—
その他	123,435	209,380
流動負債合計	979,302	1,785,343
固定負債		
長期借入金	306,009	336,402
長期預り保証金	67,841	67,841
関係会社支援損失引当金	11,530	11,530
繰延税金負債	13,495	16,457
資産除去債務	52,289	52,314
固定負債合計	451,165	484,545
負債合計	1,430,468	2,269,888
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	246,063	246,063
利益剰余金	483,377	430,667
自己株式	△5,656	△40,936
株主資本合計	823,784	735,794
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,862	67,605
その他の包括利益累計額合計	47,862	67,605
純資産合計	871,646	803,399
負債純資産合計	2,302,114	3,073,288

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
売上高	4,802,122	4,638,217
売上原価	2,639,016	2,530,555
売上総利益	2,163,105	2,107,662
販売費及び一般管理費	2,156,754	2,134,416
営業利益又は営業損失(△)	6,351	△26,753
営業外収益		
受取利息	10	106
受取配当金	1,948	2,450
投資有価証券売却益	53	149
受取手数料	429	127
受取協力金	15,000	—
受取補償金	—	1,545
その他	733	2,640
営業外収益合計	18,175	7,018
営業外費用		
支払利息	1,338	3,353
支払手数料	—	4,979
為替差損	—	2,016
その他	19	735
営業外費用合計	1,358	11,084
経常利益又は経常損失(△)	23,168	△30,819
特別利益		
固定資産売却益	9	—
特別利益合計	9	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
減損損失	31,611	—
店舗閉鎖損失	6,828	—
特別損失合計	38,439	0
税金等調整前中間純損失(△)	△15,261	△30,819
法人税、住民税及び事業税	8,704	4,588
法人税等調整額	△5,304	△8,234
法人税等合計	3,399	△3,646
中間純損失(△)	△18,661	△27,173
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△18,661	△27,173

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
中間純損失(△)	△18,661	△27,173
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,961	19,743
その他の包括利益合計	3,961	19,743
中間包括利益	△14,700	△7,430
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△14,700	△7,430
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純損失(△)	△15,261	△30,819
減価償却費	36,666	42,786
減損損失	31,611	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,223	△966
資産除去債務履行差額	△520	△3,347
受取利息及び受取配当金	△1,958	△2,556
受取協力金	△15,000	—
受取補償金	—	△1,545
投資有価証券売却損益(△は益)	△53	△149
支払利息	1,338	3,353
為替差損益(△は益)	—	2,016
固定資産売却益	△9	—
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	6,828	—
売上債権の増減額(△は増加)	△116,649	△160,289
棚卸資産の増減額(△は増加)	△9,206	△2,596
仕入債務の増減額(△は減少)	396,602	396,848
未払消費税等の増減額(△は減少)	962	18,469
その他の資産の増減額(△は増加)	22,564	△22,045
その他の負債の増減額(△は減少)	123,218	159,295
小計	459,909	398,454
利息及び配当金の受取額	1,958	2,556
利息の支払額	△1,275	△3,560
協力金の受取額	15,000	—
補償金の受取額	—	1,545
消費税等の還付額	421	3,540
法人税等の還付額	—	2,582
法人税等の支払額	△34,201	△9,685
営業活動によるキャッシュ・フロー	441,812	395,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	1,037	800
投資有価証券の取得による支出	△50,203	△495
有形固定資産の取得による支出	△90,423	△192,907
有形固定資産の売却による収入	10	—
無形固定資産の取得による支出	△1,785	—
敷金及び保証金の差入による支出	△14,184	△1,320
敷金及び保証金の回収による収入	—	1,448
貸付けによる支出	△200	—
貸付金の回収による収入	40	327
その他	△2,922	△5,464
投資活動によるキャッシュ・フロー	△158,630	△197,612
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	200,000
長期借入れによる収入	200,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△56,957	△53,383
自己株式の取得による支出	—	△35,280
配当金の支払額	△23,516	△23,516
財務活動によるキャッシュ・フロー	169,526	187,820
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	452,708	385,641
現金及び現金同等物の期首残高	761,648	701,809
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,214,357	1,087,451

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号)2022年10月28日)等を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	4,213,456	413,795	59,084	4,686,337	—	4,686,337
顧客との契約から生じる収益	4,213,456	413,795	59,084	4,686,337	—	4,686,337
その他の収益	—	—	115,785	115,785	—	115,785
外部顧客への売上高	4,213,456	413,795	174,869	4,802,122	—	4,802,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	22,672	22,672	△22,672	—
計	4,213,456	413,795	197,541	4,824,794	△22,672	4,802,122
セグメント利益	239,802	18,051	16,289	274,143	△267,792	6,351

(注) 1. セグメント利益の調整額△267,792千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△268,992千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鮮魚事業」セグメントにおいて、店舗の閉店が決定されたことに関連して、減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失計上額は31,611千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	鮮魚事業	飲食事業	不動産事業	計		
売上高						
一時点で移転される財又はサービス	3,994,237	445,768	81,944	4,521,949	—	4,521,949
顧客との契約から生じる収益	3,994,237	445,768	81,944	4,521,949	—	4,521,949
その他の収益	—	—	116,267	116,267	—	116,267
外部顧客への売上高	3,994,237	445,768	198,212	4,638,217	—	4,638,217
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	19,564	19,564	△19,564	—
計	3,994,237	445,768	217,776	4,657,781	△19,564	4,638,217
セグメント利益	244,645	6,697	11,706	263,050	△289,803	△26,753

(注) 1. セグメント利益の調整額△289,803千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,003千円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他の収益」は、リース取引に関する会計基準に基づく賃貸収入であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。